

～年間を通じた養殖カキの安定供給～  
**有限会社丸善水産（三重県鳥羽市）**

目詰まりの現状

当社が立地する鳥羽市浦村町は、三重県内で最大のカキ養殖産地であり、好漁場を背景に古くからカキ養殖が盛んに行われているが、近年の生産量は他県と比較して減少傾向にある。

一方、浦村町のカキは、1年間の養殖で出荷サイズまで成長するが、全国的にカキのシーズンは、10月から3月までであり、この時期を除くと需要は極端に減少する。特に、4月以降のカキは身入りが大きくなるものの、出荷量が激減することから、廃棄せざるを得ない場面もある。より安定した生産を実現するためにも、新たなニーズの開拓がカキ養殖業者の共通の課題となっている。

プロジェクトの概要

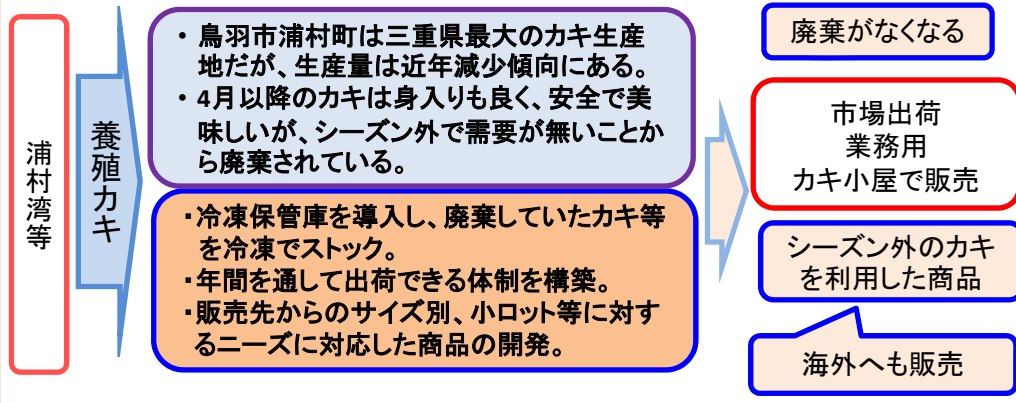
- ・ 冷凍保管庫を導入し、冷凍カキの原料及び製品をストックし、年間を通して出荷できる体制を構築。
- ・ 業務用の大量注文に対応できる生産体制を構築するとともに、サイズ別、小ロット等のニーズにも対応。
- ・ 5月頃に生産される粒の大きなカキを原料としたカキフライ商品等で他地域との差別化を図り、販売促進に取り組んだ。
- ・ 冷凍むき身をS、M、L、LLの4サイズに区分して販売。

取組による成果

- ・ これまで廃棄していた身入りの良い5月頃のカキも冷凍商品として出荷が可能に。
- ・ 平成30年度の冷凍カキ加工品の出荷量は、平成28年度比で5.5倍に増加。
- ・ 輸出対策として商社を通じ、タイや台湾への出荷を開始。

プロジェクトフロー

三重県のカキ生産量を増やしたい



冷凍保管庫の建屋



カキ小屋と食べ放題のカキ



冷凍保管庫内の商品等



剥きカキ冷凍商品



(平成31年3月現在)